



令和7年度 渋谷区立富谷小学校 学 校 経 営 方 針

渋谷区立富谷小学校
校長 石川 亜由美

1 はじめに

学校は、子供たちにとって、生涯にわたる学習の基礎・基本を身に付け、自ら学ぶ意欲と学ぶ力を育む「学びの場」です。また、多くの人との関わりや体験的な活動を通して「豊かな人間性を育む場」でもあります。

「子供たちが楽しく学ぶ学校」「保護者の皆様との信頼関係のもと共に育てる学校」「地域社会と連携・協働する学校」「教職員が生き生きと働く学校」を『チーム富谷』一丸となってつくっていきましょう。

2 教育目標・目指す学校像

小学校学習指導要領

東京都教育ビジョン

- 自ら未来を切り拓く力の育成
- 誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実
- 子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化

渋谷区教育大綱

「つくろう。ちがいを活かし合える、未来の学校」
未来の学校で大切にする、7つの力
○基礎 ○共感 ○協働 ○探究 ○自律 ○挑戦 ○創造

渋谷区教育目標(R7.2改定)

- 「7つの力を育むための重点的な取組」
- 子ども主体の「未来の学校」づくりの推進
- 一人ひとりの“ちがい”が活きる新たな学び・探究の推進
- 誰でも安心・安全に挑戦できる教育環境の整備
- テクノロジー活用によるDXの加速化と教員の働き方改革の推進
- 地域と共創する学校づくりの推進

学校評価アンケート結果より

「(十分)達成されている」が多かった項目

- 学校は、ペーパーレス化を推進している ○95%
- 子供たちは、安心して学習に取り組むことができています ○87%
- 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進している ○87%

「(あまり)達成されていない」が多かった項目

- 家庭は、確実に情報を得、教育活動に参加している ▲25%
- お子さんは自ら進んで学習に取り組んでいる ▲20%
- タブレット端末を効果的に使っている ▲17%

「分からない」が多かった項目

- 学校は、いじめ対応方針を明確に伝え、未然防止・早期発見・対応に努めている ?32%
- 教育活動は学校の特色が表れている ?25%
- 学校は、デジタル・シティズンシップ教育を推進している ?25%

富谷小学校の子供たちの姿 教職員の願い

学校教育目標

◎は重点目標

生涯にわたって主体的に学び続けて自らの可能性を発揮し、多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓くために必要な「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育むことを目指す

◎よく考える子 ○やさしい子 ○たくましい子

目指す学校像

合言葉:ともだちいっぱい みりよくいっぱい がんばりいっぱい やさしさいっぱい の学校

○児童が「ちがい」を生かし合って協力し、楽しく学ぶ学校

安心・安全である/自分の個性や能力が十分に発揮できる/困難に挑戦し、克服できる・本気になって取り組める/友達や仲間と協力できる/自分が成長していると実感できる

○保護者との信頼関係と「共に育てる」協力体制のある学校

安心・安全である/学校の様子が「見える」/「共に育てる」協力関係にある

○地域社会と連携・協働し、地域が誇りに思える学校

学校の様子が「見える」/学校運営協議会・同窓会・町会・地域の教育材と連携・協働できる

○教職員が柔軟な発想で教育活動を創造し、学び合い、生き生きと働く学校

子供のために柔軟な発想で教育活動を創造し、本気で実践する/互いに支え合う

3 学校教育目標・目指す学校像の実現のための基本方針・具体策

【基本方針1】子供主体の「未来の学校」づくりの推進

- ① 「学校は自ら楽しくするところ」であることを意識付け、児童が主体的に学校生活を向上させようと活動する機会や組織を設ける。
 - 学級活動(係・当番活動等)、児童会活動(委員会活動)、なかよし班活動等の充実を図る。
- ② 児童が自らの学習状況を把握し、主体的に学びを調整できるように促す。
 - 学びへの動機づけを図り、学習のめあてを明確にし、学習計画を児童と共に立てて授業を展開する。
 - 学習の振り返りの充実と価値付けを図る。
 - 家庭学習への指導・助言・支援を行い、改善・充実を図る。
- ③ 児童が主体的に学校行事を創造したり、地域社会や関係機関等と協働したりする機会を設ける。
 - 学校行事は、児童が中心となって企画・運営するように指導・助言する。
 - 開校95周年関連行事を児童と共に創造する。

【基本方針2】新たな学びの実現・探究学習の充実

- ④ 「誰一人取り残さず、一人一人を伸ばす」意識を強くもち指導を行う。
 - 児童の学習状況、興味・関心・意欲、特性・個性等を踏まえた指導・支援を行う。
 - 指導方法の工夫改善、ICT機器の有効活用を図る。
 - 授業のユニバーサルデザイン化や合理的配慮を行い、個別最適な学びの実現を図る。
 - 「富谷学習プラン」を基盤とした学習習慣や学習規律を確立する。
- ⑤ 対話的で協働的な学びを重視する。
 - 直接交流とICT機器を活用した交流を効果的に組み合わせる。
 - 考えの共有や対話、協働による深い学びの実現を図る。
- ⑥ 「シブヤ未来科」(探究学習)の充実を図る。
 - 校内研究を核として、日常の授業を改善し、探究的な学びの実現を図る。
 - 各教科等の学習で培った能力や技能、見方や考え方を生かした主体的な探究活動を充実させる。
 - 多様な他者と協働して新たな価値を生み出す力、積極的に社会に参画する力、自ら最適解を見付けて行動・挑戦する力を培う。
- ⑦ 体力と運動能力の向上、心と体の健康への意識の向上を図る。
 - 体育学習を充実させ、児童がめあてをもって運動に取り組み、学び方を身に付けられるようにするとともに、楽しみながら体力と運動能力の向上を図ることができるようになる。
 - 運動に親しむ場や機会をつくり、児童自らが体力や運動能力の向上に向けた目標を設定してすすんで運動に取り組むように意欲付ける。
 - 保健指導や食育を中心に健康教育を充実させ、心と体の健康に対する意識を高めることができるようにする。

【基本方針3】安心・安全に挑戦できる教育環境づくり

- ① 学校が心理的に安心・安全な場であるようにする。
 - 児童、教職員共に、言語環境を整える。
 - すすんで挨拶する意識を育て、言葉遣いや集団生活での礼儀・マナーの向上を図る。
 - 自分も周りの人も大切に温かな学年・学級・専科経営を進める。
 - 特別の教科道徳の時間を要として、全教育活動を通して、人権意識・規範意識を醸成し、多様性を尊重する態度を育てる。
 - 「富谷生活プラン」を全校で継続・徹底することで、基本的生活習慣の定着を図り、きまりを守る児童を育成する。
 - 家庭と連携し、タイミングを逸しない指導、児童が納得する指導を行う。

- ② いじめをしない、させない集団づくりを行うとともに、差別や偏見をもたせない学級・学年経営を行う。
 - 学級会等の話し合い活動を通して、自分たちの生活を自分たちの力でよりよくしていこうとする意識と態度を醸成するとともに、合意形成の仕方が身に付けられるようにする。
 - 「富谷小学校いじめ防止基本方針」に基づき、学校・家庭・地域が連携して、いじめの未然防止、早期発見・早期対応を図る。
- ③ 多様な想定での避難訓練の実施、保護者参加型の避難訓練等を通し、児童の防災意識を高めるとともに、非常時の対応力の向上を図る。
- ④ 施設設備の安全点検を定期的・組織的に行い、事故防止に努める。また、不要物の処分、日常の清掃、環境整備を徹底する。理科室・保健室・図工室等の薬品及び危険物の管理に細心の注意を払う。
- ⑤ 児童自ら感染症対策がとれるよう、計画的な指導を実施するとともに、保護者への連絡も確実に行う。
- ⑥ 児童の食物アレルギーについて保護者との連絡を密にとり、組織的な対応をする。
- ⑦ 児童のけが(特に首から上のけが)や体調不良に対して、管理職を交えた組織的な対応を取り、不測の事態を避ける。
- ⑧ 登下校時だけではなく放課後等、校外における事故防止のため、代々木警察生活安全課、交番、防犯協会、育成会、民生・児童委員等と日常的に連携する。また、事故発生に際しては、受傷児童の被害を最小限にする措置を第一として対応する。

【基本方針４】校務DX（働き方改革）への取組の推進

- ① 学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担い、児童の教育を進めるように協力・連携する。
- ② 目的や効果を見直して各行事等の教育活動を計画・実施する。
- ③ 職務分担を図ることで超過勤務を減らし、量から質への職務改善を図るとともに、学年担任団を中心に協働し合い、支え合う。
- ④ 水曜日の午後の時間を有効活用し、校内研究やOJT、各種研修を行う。
- ⑤ 教職員自身が健康を保つために、働き方改革の推進に努める。
 - 最終退勤時刻の設定及び「ノー残業デー」等、習慣化された取組を行っていく。

【基本方針５】コミュニティ・スクールとしての地域と協働した取組

- ① 学校運営協議会・保護者やPTA・同窓会を基軸とした学校支援体制のさらなる確立を図る。
- ② 地域人材や専門性のある人材の活用を積極的に進める。
- ③ 教育活動を様々な手段で広く公開するとともに、保護者や地域の方による学校評価等の声を真摯に受け止め、教育活動の改善を図る。

【基本方針６】特色ある教育活動の充実

- ① 特別支援学級（いずみ学級）の児童と通常の学級の児童との交流学习・共同学習を進め、相互理解を図り、個性を尊重し合い、支え合って生きる意識を醸成する。
- ② 児童会活動やなかよし班活動を充実させ、相互理解を進め、自己有用感の醸成を図る。
- ③ 地域の特色（代々木公園、ベトナム大使館、代々木八幡宮、春の小川、各商店街、各教育機関、各企業等）を生かし、同窓会や町会と連携した教育活動を進める。
- ④ 6年生全員による鼓笛隊の編成、発表の機会の設定を行う。
- ⑤ 近隣の富ヶ谷図書館や保護者ボランティア等と連携し、また、電子書籍読み放題サービスを活用し、本に親しむ機会をつくって読書を推奨し、読書の質と量の向上を図る。

「不易と流行」を見極め、
保護者及び地域と共に
「地に足が付いた学校づくり」を推進する



「品格」の感じられる富谷小学校に
子供から感じられる「品格」
そのモデルとなる教職員の「品格」

保護者のみなさまへ 校長からのお願いごと

○次の三つを学校でも家庭でも共通の約束事としてください。

① 返事や挨拶を気持ちよくする

「はい」「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」等の挨拶を自分から気持ちよく、また、素直にすることは、人と人とのつながりを築く基本であると考えます。

② 自分も周りの人も大切にする

「人の話は、最後までしっかりと聞く」

「人の嫌がることを言わない、しない」⇒「相手を思いやった言葉遣いをする」

心が傷つくようなひどいことは言われたいし、自分が話したら最後まできちんと聞いてもらえる。このような秩序が確立された場であることで、子供は安心してそこにいることができますし、自分の本音を語ることができます。

また、どのような場合でも、暴言・暴力は解決手段にならず、あってはならないことであること、相手に伝わるように言葉で話す力を付けることが大切であることをお子さんに教えてください。

③ 時刻や時間、期限を守る。

このことは、社会に出てからも、信用に関わる大切な力だと考えます。

朝、8時25分には、朝の支度を終えて着席し、朝の会を始めるようにしようと指導しています。月・水曜日には、8時30分から児童朝会・児童集会等があります。2年生以上の学年は、火・木・金曜日は、8時30分から授業（モジュール）が始まります。遅刻をしないで登校できるように朝の送り出しをお願いします。（遅刻する場合には、ご連絡ください。）

課題や提出物の期限を守ることも指導しています。保護者の皆様も、学校への提出物の期限にご留意ください。

○どのようなことでも、遠慮なく相談してください。

遠慮して相談することを先延ばしにするのではなく、その時、その時にご連絡ください。

担任でも、学年主任でも、特別支援教育コーディネーターでも、養護教諭でも、スクールカウンセラーでも、主幹教諭、副校長でも、もちろん校長でもかまいません。

校長室の扉は、常に開けておきますので、いつでも声をかけてください。

○「保護者の皆様と学校は、子育ての大切なパートナー」です。

いつも同じ方向を向いて、力を合わせて、私たちの宝である「富谷小の子供たちの成長」を支えていきましょう。

そして、子供たちの一生懸命な姿、様々なことに全力で挑戦する姿を通して、子育ての感動を共に味わいましょう。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

